

都市再生整備計画 事後評価シート
新大平下駅前地区

令和4年3月

栃木県栃木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	栃木市		地区名	新大平下駅前地区			面積	13.6ha			
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	304百万円	国費率	0.400					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(市道①号線)、公園事業(街区公園1号)、地域生活基盤施設事業(公共サイン整備事業)、土地区画整理事業(新大平下駅前第2)、土地区画整理事業(緊急防災空地整備事業:新大平下駅前第2)											
		提案事業	地域創造支援事業(イルミネーションストリート事業、富田地区ウエルカムガーデン事業、防犯対策事業)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	土地区画整理事業(新大平下駅前第2)			社会資本総合整備計画の基幹事業に振り替えたため削除			特になし					
		提案事業	なし											
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設事業(自転車駐輪場)			駅西口の利用者の利便性向上を図るため基幹事業に追加			新大平下駅西口への通行量増加が期待される						
	提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	数値	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	新大平下駅西口への通行量	人/日	1,484	H25	2,000	H30		1,660	△	あり	●	昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、テレワークの推進や外出自粛、にぎわいの創出を図れないという環境下において、目標達成までは至らなかったが駅周辺利用者は増加している。市道①号線及び土地区画整理事業により駅西口改札へ通じる道路の整備、駅前広場、自転車駐輪場、街区公園1号が新設された効果は大きく、これらの利用者も多くなっている。	
	指標2	狭路道路率	%	60	H25	30	H30		30	○	あり	なし	土地区画整理事業により都市計画道路や区画道路の整備が進み、また市道①号線が基幹事業として整備されたことにより、狭路道路の目標値を達成することができた。	
	指標3										あり	なし		
	指標4										あり	なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	数値	評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	市道①号線通行量	人/日	911	H25				1,486				基幹事業で整備された市道①号線は、幅員が拡幅され、駅前まで接続されたことから通行量が従前の約1.6倍に増加した。市道の整備により周辺道路への交通負荷が減少し、安全・安心で快適な居住環境の形成につながっている。	
	その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	なし													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	新大平下駅前第2土地区画整理事業 準備会、連絡会等				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	今後、土地区画整理事業の換地処分が予定されており事業は終息に向かうが、担当課においては地元の見解や要望を引き続き聴いていく方針である。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	駅前広場の除草作業				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	地元自治会により、駅前広場の除草作業が年に2～3回実施されており、市としても今後とも活動に協力していく方針である。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 駅周辺を中心とし、大平地域の顔としてふさわしい快適でにぎわいのある市街地を形成する。	新大平下駅西口への通行量	単位: 人/日	1,484	H25年度	2,000	H30年度	1,660	R3年度
小目標1: 魅力ある中心市街地を形成する。	狭隘道路率	単位: %	60	H25年度	30	H30年度	30	H30年度
小目標2: 安全、安心して快適な住環境を形成する。								

まちの課題の変化	<p>【達成されたこと(課題の改善状況)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の施行により、人口の定住化を促進する良好な住環境の整備がなされた。 ・緊急時に避難場所の機能が期待できるオープンスペースとして街区公園1号と駅前広場が、また延焼防止の機能としてこれらに加えて市道①号線が整備された。 <p>【残された未解決の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空洞化してきている街なかの賑わいを回復するためのまちづくりを推進する必要がある。 ・防災機能のさらなる強化を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行が収束した後に、駅前広場や街区公園を活用したイベント開催により、「駅周辺」のイメージアップと賑わいの創出を図る。 ・空き店舗対策の推進、起業支援や後継者の人材育成などにより中心市街地の活性化を図る。 ・引き続き狭隘道路や消防困難区域の解消を促進する。 ・街区公園1号等にも防犯カメラを設置し、防災機能に加え防犯機能のさらなる強化を図る。